

旭丘連合自治会 様

1 事業名

地域の未来を担う子どもの育成～わくわくプログラムを通した取り組み～
(初年度)

2 評価項目別平均点

公益性	地域性	実現性	未来性 継続性	総合性	合計
5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	25.00

3 講評

旭丘連合自治会が取り組まれる「地域の未来を担う子どもの育成」の趣旨のとおり、地域の未来を支えていくのは子どもたちであり、その子どもたちの育成を大切にされていることには同感です。今回の事業は、教育という視点ではなく地域活動として担うこととされた素晴らしい取組だと思えます。

個々には様々な考えや感情、環境などがありますが、運営組織に自治会や学校関係者の方だけでなく、多種多様な団体で活動されている方が参画されていることから、「地域一丸となって取り組む」という思いが強く感じられます。子どもたちを育てるのは、親や学校だけでなく、地域でも育てるという思いは、子どもたちにも届くと思えます。

また、子どもたちに様々な体験の機会を提供されることは、子どもの健全やかな成長を育むことにつながるだけでなく、その活動の輪が広がることで、地域の気運も一層高まり、持続可能な協力体制が構築できることも期待しております。

吉岡町自治会 様

1 事業名

巨大地震に備える町隊活動－吉岡町防災マニュアルの活用を通して－（3年目）

2 評価項目別平均点

公益性	地域性	発展性	実現性	独自性 独創性	合計
4.75	4.75	5.00	4.50	5.00	24.00

3 講評

頻発する地震に対して危機感を持ち続けておられる姿勢に大変感銘を受けました。

「わかりやすい」マニュアル、「手に取って見たくなるマニュアル」を標ぼうされ、イベントと結び付けてマニュアルを活用する仕組みづくりをされている点が素晴らしい取り組みだと思います。

マニュアルは熱心な人のもとでは輝きますが、陳腐化・風化する懸念もあります。「イベントと結び付けてマニュアルを活用する」という点を、年間計画としていただけるとより良い取り組みになるかと思います。すでに実施されているように、「火起こし」は大変すばらしい取り組みです。それを踏まえて、「イベントに参加して南海トラフに備えよう」という1年間のストーリーになるとさらに良くなると思いました。

ボランティア隊を引率した際、東北の三陸の方々は「震災を乗り越えることはできない。記憶に向き合っているだけです」と仰っていました。向き合い方は地域ごと、人さまざまですが、イベントを定期的で開催して、多くの方々に自らの体験を伝えようと言われていました。全く同じようにはできないと思いますが、定期的継続されて「吉岡町流の防災」をつないでいただければ嬉しく思います。

山の手自治会 様

1 事業名

自治会内の電子化導入（3年目）

2 評価項目別平均点

公益性	地域性	発展性	実現性	独自性 独創性	合計
5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	25.00

3 講評

3年間の取り組みを通じて、地域におけるICT技術の導入と、その効果を着実に実現されています。特に、自治会にかかわる方々の負担軽減や住民の要望への対応、地域の守りの強化といった多角的な視点は、今の時代に非常にマッチした素晴らしい取り組みだと感じました。

シンプルで分かりやすいホームページは、住民が必要な情報を容易に得られ、集会所の予約機能もあり、自治会活動の促進に繋がっております。また、ICT化へのハードルを感じやすい高齢者への配慮としてスマホ教室を開催している点や、大型モニターを活用した映画上映会等の実施も、地域住民のニーズに応えた素晴らしいアイデアです。さらに、防犯カメラの管理にアプリを活用することで、運用面・コスト面の負担がに削減されております。

山の手自治会様の取り組みは、地域社会のICT化の模範になると思います。今後の事業展開にも期待しております。

松ヶ丘町内会 様

1 事業名

松ヶ丘町内会防災イベント（初年度）

2 評価項目別平均点

公益性	地域性	発展性	実現性	独自性 独創性	合計
5.00	5.00	5.00	4.25	5.00	24.25

旭連合自治会 様

- 1 事業名
自治会 I C T 化事業（初年度）

- 2 評価項目別平均点

公益性	地域性	発展性	実現性	独自性 独創性	合計
4.00	3.75	4.00	4.25	4.00	20.00

総評

まだ記憶に新しい「緊急事態宣言」が発出されて以降、外出自粛や飲食店の休業・時短要請が本格化した令和2年は、私たち住民の親睦を基盤とする自治会等活動も影響を受けました。この時、私が暮らす自治区でも季節の節目に開催する祭りや催しが中止になりました。再開を望む声は上がるものの、自治会役員の負担軽減問題と相まって、残念ながら、いまだ再開に踏み切れていません。

他方、本市では、持続可能なまちづくりになる良い影響が表れています。それは、パソコンやスマートフォンなどのデジタル機器とインターネットなどの情報通信技術（ICT）を活用した取組に着手され、サービスの品質向上や役員の業務効率化を図り、さらなる組織強化へとつなげておられます。しかし、本事業は「機材を購入して終わり」ではありません。今回の公開プレゼンテーションでは、いずれの申請事業も「誰のために、何のために取り組むのか」を明確にされていたことから、取り組みの必要性を確認させていただくことができました。具体的には、子どもの育成も防災も、ふだんから自治会組織のなかで地域の課題を話し合い、活動の方向性を共有されているからこそその事業でした。

本事業の役割は、役員だけでなく、必要に応じて自治会員を巻き込みながら、自治会本来の姿に戻すレジリエンス（回復力）につながる「きっかけづくり」だろうと思っています。

これからチャレンジしようとお考えの自治会のみなさまへ

これらの取組を是非、1月の中間支援報告会にて聴衆していただき、一つでもノウハウを取り込み、みなさまの地域が発展されますことを祈念しております。

